

# ハイスクールサミット

# 田辺工業生が参加

## 震災テーマ 福島で開催 意見交換や現地視察

田辺市あけぼの、田辺工業 遼君(17)と2年生中松美穂  
高校生徒会役員の3年生亀井 さん(17)が、8、10日に福

ハイスクールサミットを前に準備を進める中松美穂さん(左)  
と亀井遼君＝田辺市あけぼので



島県いわき市である「未来のまちづくり・みちづくりフォーラム ハイスクールサミット in 東北」に参加する。全国の高校生とともに、東日本大震災からの復興や今後の備え、暮らしやすいまちづくりなどについて考える。

このイベントは未来のまちづくり・みちづくりフォーラム実行委員会主催。住みやすい地域社会の実現などを狙い、福島県相双地区の人々が中心となって設立したNPO「ハッピーロードネット」が事務局を務める。共催は東北経済連合会、福島県など。今年で5回目。

これまで和歌山県内からは、近い将来津波被害の恐れがある沿岸地域の高校として、新宮と串本古座が参加し

てきた。

今回の参加予定校は21道県35校。メインテーマは「私たちの未来は、私たちの手で」。福島の復興やふるさとの将来、津波被災地の今後などをテーマにした意見交換会や名刺交換を通じた交流会、福島県内の東日本大震災の被災地見学などがある。これまでの集大成として未来に向けた提言をまとめ、発信するといふ。

田辺工業高校の2人は事前学習を重ね、会場での学校紹介については他の生徒会役員とも内容を相談。A1判1枚にクラブ活動や防災設備などをまとめた。

亀井君は「東日本大震災のことを肌で感じたい。田辺工業高校の取り組みや和歌山のいいところも伝えてきたい」、中松さんは「和歌山にも大きな地震が予想されているので、震災体験の話聞いて自分のできることを考えたい。和歌山についても伝え、来たいと思ってもらえたら幸い」と話している。